

2018年度の復興支援活動予定

今年度も県生協の各イベントにブースを出展し、復興支援活動のお知らせや募金を行いながら、保養プロジェクト、視察交流ツアーなど、福島との交流を継続していきます。



「東日本大震災復興支援募金」にご協力をお願いします！

組合員の皆様からお寄せいただいた募金は、「福島の子ども保養プロジェクト」の実施をはじめとした、県生協が行う復興支援活動の資金として活用させていただきます。

【募金方法】

マークシート6ケタの特別注文欄に募金番号と□数を記入ください。□数は「5」は500円、「10」は1000円の募金となります。皆様のご理解・ご協力をお願いします。

募金受付番号	募金名
375187	東日本大震災 復興支援募金 1口100円(非課税)

■ 2018年5月1日までの「募金受付累計額」および「拠出した金額とその使途」は下表のとおりです。

東日本大震災 復興支援募金(2012年9月～)	
2017年度末までの募金累計	4,560,215円
2018年4月1回～4月4回までのOCR用紙(注文書)による募金累計人数	23人
2018年4月1回～4月4回までのOCR用紙(注文書)による募金累計額	10,300円
2018年4月1日～4月30日現在のイベントなどでの現金募金累計額	0円
受付合計金額①	4,570,515円
2017年度末までの拠出合計	2,414,406円
2018年4月 復興公営住宅サロン支援品送付	5,929円
拠出合計金額②	2,420,335円
お預かりしている募金残高(①-②)	2,150,180円

第59回 通常総代会開催のお知らせ

富山県生活協同組合定款第50条に基づき、第59回通常総代会を下記の通り開催します。

日時/2018年6月20日(水) 10:00～12:30
 場所/ボルファートとやま 2階ホール(富山市奥田新町8-1番地)
 議事/第1号議案 2017年度活動報告および決算関係書類承認の件
 監査報告
 第2号議案 2018年度活動方針および事業計画決定の件
 第3号議案 第8次中期3ヵ年計画決定の件
 第4号議案 役員選任の件
 第5号議案 役員報酬決定の件
 第6号議案 役員退任慰労金支給の件

総代会に関するお問い合わせは… フリーダイヤル 0120-80-4717
 総合企画室(山口・松本)まで

総代会ってなあに？

総代会は年1回開催される生協の中の最高議決機関で、組合員の代表(総代)が集まり、この1年間の取り組みのまとめや決算内容を承認したり、この先1年間の方針や計画などの重要事項を決める大切な会議です。総代会で決めた方針に沿って、富山県生協の全ての事業や活動が行われます。

総代会に提案された議案について、総代は「賛成」や「反対」の意思表示をして、富山県生協が進んでいく方向を決めます。

職場からこんにちは

- 出身地/富山県高岡市
- 好きな食べ物
カレーライス
- 趣味・特技
野球
- どんなお仕事をしていますか？
配送
- 仕事をして「嬉しい瞬間」は？
1日の配達の中で、何度も「ありがとう」と感謝の言葉を頂ける仕事はあまりないと思うので、そういう時にとても嬉しく、この仕事を選んでよかったと思います。

西部センター
 田阪洸志朗さん



- おすすめの生協商品
商品名「ミックスキャロット」
おすすめポイント：すっきりしていて飲みやすく体にもいいのでとてもオススメです！
- 組合員さんに一言
いつもお世話になっております。少しでもみなさんの生活の助けになれるようにこれからも1日1日一生懸命頑張ります！
- 次に登場して欲しい方を紹介してください
富山センターの金川真人さんを紹介します。

明日の暮らし、ささえあう CO・OP共済



3月のご報告

	給付数(件)	給付額(万円)
入院	100	600
本人死亡・重度障害	8	406
事故通院	181	353
手術	38	217
家族死亡・親死亡	1	1
住宅災害	4	12
ガン他	0	0
賠償責任	4	27
女性特定	14	37
合計	350	1653

知っておきたい!健康と医療 NO.85

今月のテーマ 『はしかや水ぼうそう、風疹などの症状のある人と同じ部屋にいたら感染しますか。』

流行するウイルス性の感染症の主なものとして、季節性のインフルエンザやRSウイルス感染症等のほかに、はしか(麻疹)や水ぼうそう(水痘)、風疹、おたふく風邪(流行性耳下腺炎)があげられます。これらの感染症の症状のある人に接触した場合には(同じ空間にいた場合など)、感染する可能性があります。

今までにこれらの病気に感染したことがなく予防接種も受けていない人は、抗体を持っていないため感染の可能性は高くなります。

麻疹や水痘に感染したかもしれないと考えられる場合は、接触後72時間以内にワクチン接種をおこなうことで発症を防げる可能性があります。ワクチン接種をおこなっても残念ながら発症してしまう場

合もありますが、症状の軽症化が期待できるといわれています。

感染したからといって、必ずしも症状が出るわけではありません。症状がなくても感染の可能性が考えられる場合は、周囲にも感染させてしまうことがあります。その場合は、妊婦や小さいお子様などとの接触を避け、大勢の人が集まるような場所には行かないようにしましょう。

また、感染の拡大を防ぐため、受診の際には必ず窓口で感染の可能性を伝えるようにして下さい。

東京海上日動メディカルサービス 発行
 ～コープ共済連 ホームページ引用～